

①学校名:	国立大学法人愛媛大学		②所在地:	愛媛県松山市道後樋又10番13号		
③課程名:	社会基盤メンテナンスエキスパート養成講座	④正規課程／履修証明プログラム:	履修証明プログラム	⑤開設年月日:	H28.9.26	
⑥責任者:	八尋秀典・理工学研究科長		⑦定員:	30	⑧期間:	2ヵ月
⑨申請する課程の目的・概要:	高度経済成長期に建設された橋梁に代表される多くの社会基盤構造物が更新時期を迎えており、この問題に即応できる技術者の育成が地域社会のニーズとなっている。メンテナンスエキスパート(ME)養成講座では、土木構造物に携わる行政管理者および民間の建設技術者に橋梁やトンネルなどの点検・診断、補修設計、長寿命化計画の策定方法を教授し、社会基盤構造物の健全な維持管理に貢献できる人材を育成することを目的としている。 ME養成講座は、構造物の維持管理を行う上で共通の考え方となるアセットマネジメント、多岐に渡る社会基盤(橋梁・地盤構造物・舗装・トンネル・河川構造物・上下水道)の設計、点検、診断、評価方法、地震、津波、洪水、土砂災害など地域が抱える災害リスクや、災害時の構造物被害、災害に強い構造物設計などで構成される。					
⑩4テーマへの該当の有無	地方創生(地域活性化)	⑪履修資格:	大学卒業程度の学力を有し、土木・建設業界の技術者として実務経験を有する者			
⑫対象とする職業の種類:	官公庁等土木技術者・建設業界技術者・その他の者 (複数の所属機関における実務経験により、同等の要件を満たすと当大学で認められた者)					
⑬身に付けることのできる能力:	(身に付けられる知識、技術、技能) 社会基盤構造物の維持管理に必要な知識と技術			(得られる能力) マネジメント能力、点検および診断能力		
⑭教育課程:	社会基盤の維持管理の考え方の根底を「社会資本とアセットマネジメント」、「ライフサイクルコスト」で教育し、その後、コンクリート橋、鋼橋、トンネル、擁壁、地盤、斜面、河川、上下水道などの各種社会基盤構造物の設計や維持管理手法について教育する。それぞれの科目は、座学形式の講義から、グループによる演習、フィールドワーク(現地実習)につながるよう設計されている。カリキュラムでは演習やフィールドワークを多く取り入れ、点検、診断、維持管理についてのグループワークを通して深い理解を得られるよう工夫されている。また、授業期間終了後に、社会資本のマネジメントと点検および診断について十分な能力を獲得したか確認するための試験がある。					
⑮修了要件(修了授業時数等):	総授業時間121.5時間の全てを受講し、さらに論文試験・プレゼンテーション試験、筆記試験(択一試験)に合格					
⑯修了時に付与される学位・資格等:	「履修証明書」及び、(大学独自の資格):「四国社会基盤メンテナンスエキスパート」の付与					
⑰総授業時数:	121.5 時間	⑱要件該当授業時数:	61.5 時間	該当要件	⑲要件該当授業時数 ／総授業時数:	51%
⑳成績評価の方法:	出席状況及び論文試験・プレゼンテーション試験、筆記試験の成績					
㉑自己点検・評価の方法:	学校教育法第109条第1項に定める評価を実施している。また受講者にアンケート調査を実施し、各授業科目、講座全体への意見、感想、要望を収集する。それらを学内組織である社会基盤メンテナンスエキスパート養成講座運営委員会にて分析・評価し、次年度以降のカリキュラムの改善に活かす。					
㉒修了者の状況に係る効果検証の方法:	講座の実施前後、並びに受講後4か月後にアンケート調査を行い、受講生の意識変容、行動変容、養成講座で学んだ知識・技量のメンテナンス業務における効果等を評価する。また、修了生に対して1年毎のヒアリングを行い、受講後のキャリアアップや資格取得への効果を検証する。					
㉓企業等の意見を取り入れる仕組み:	(教育課程の編成) 愛媛大学、国土交通省四国地方整備局、愛媛県、愛媛県内20市町、民間建設関係団体(合計33組織)が連携して、産官学の協議会組織である「愛媛社会基盤メンテナンス推進協議会」を組織化している。本協議会では、地域の社会基盤を再生するための調査、研究、人材育成に関する情報交換を行っており、本教育プログラムの教育課程のカリキュラム編成についても提案、助言を受けている。 (自己点検・評価) 教育プログラムの内容、実施状況を本協議会にて報告し、企業や行政機関から意見や要望を受けている。また受講生にもアンケート調査を行っており、これらの意見をもとにカリキュラムを自己点検、ブラッシュアップしている。					
㉔社会人が受講しやすい工夫:	eラーニングの活用、通学が難しい受講生への宿泊施設の案内					
㉕ホームページ:	(URL)http://cdmir.jp/lectureship/youkou28.php					